

# 川西市議会議員

# ふくにし 勝

## 活動報告 第54号

2024年 春号 発行責任者：ふくにし勝後援会 会長 原 龍生

令和6年第1回川西市議会(3月定例会)が2月15日(木)～3月25日(月)まで開催されました。

今回は会派を代表して総括質問をしました。その一部をご報告させていただきます。

### 越田市長の施政方針に対する総括質問

#### 1. 市立小中学校体育館への空調設備の整備について

昨年の夏は地球沸騰化元年となるのかと思うほど暑かったです。

学校の各教室にエアコンが整備されたおかげで子どもたちが授業へ取り組む姿勢や習熟度は維持されていると認識しています。

令和6年度に全小中学校体育館へ空調設備の設計料として3,080万円が計上されました。

そもそも、どの学校も築年数が40年50年以上経過しています。

しかも体育館は柱が少なく耐震性が弱いので空調設備を支えるだけの強度があるのか？密閉性は大丈夫なのか？を確認しました。

強度についての問題はありませんが、令和6年度に設計の段階で密閉性が保たれていない体育館は個別工事が行われます。

令和7年度に工事が行われ令和8年度には全小中学校体育館の空調を利用できるようになります。

#### 2. 民間プールを活用した水泳授業の試行実施について

学校プールの維持管理費の削減と教員の働き方改革の観点から民間プールを活用した水泳授業が試行的に進みます。

まずは清和台中学校区(清和台小学校・清和台南小学校・清和台中学校・養護学校)で行われます。

水泳授業は水泳指導の未経験者が多い教員からではなく、経験豊富な民間プールの専門性の高い指導を受けることができ、子どもたちはとても有益になることは想像できます。

しかし受け入れる側の体制整備は大丈夫なのか？の確認では、屋内プールは1年を通して利用できることや、休業日を活用して授業を行うことができることがわかりました。

他校区にも民間プールの活用を進めてほしいことを要望しました。

そして使用しなくなった学校プールについては、スケートボードができるように工夫している自治体がありますので、川西市でもスケートボードができるよう提案しました。

### 3. 財源確保に向けた取り組みについて

越田市長の所信表明では「事業を未来に向けて継続的に実施していくためには、財源確保の議論を避けて通ることができません。」と言われました。

更に「健全な財政なくして、持続可能なまちづくりはありません。」と続けられています。

持続可能なまちづくりは越田市長だけがその責任を背負うのではなく、議決機関である市議会にも同じ責任があると考えます。

令和6年度予算においては財政調整基金から5億円、減債基金から約19億円、特定目的基金から約9億円の合計約33億円を取り崩すとされています。

今後も扶助費（社会保障）の増加は防ぐことはできず、歳出増加は避けられない状況です。

しかし歳入は所得税の増加と消費税の増加が見込めない予算となり地方交付税が増加しました。

国の施策による社会経済の好循環なくしては、地方自治体での歳入増をコントロールすることはとても難しくなっています。

今後は歳入増加が見込めなければ歳出削減に向けての取り組みを議員からも提案していかななくては新たな事業を実施することができません。

令和4年度決算では経常収支比率98.5%、義務的経費比率50.6%と財政は硬直化しています。

人件費は職員数の増加と職員の給与増加で増えています。

公債費は約32億円減少していますが大きく減少しませんし、義務的経費率を下げることは難しく、それ以外の歳出削減が必要となります。

令和6年度予算は既存事業や受益者負担の見直しによって対前年度比で1億1,000万円を生み出した予算編成となっています。

## 子どもの笑顔があふれる街、川西!

「総括質問を終えて」 市議会議員として14年目を迎えました。

令和6年度は川西市政70周年を迎えて1年を通して様々なイベントが予定されています。

これまで取り組んできたことが少しずつではありますが形になってきました。

今までの総合計画は10年間の計画でしたが、急激な社会状況の変化を踏まえて8年間の計画を提案しました。令和6年度からスタートする第6次総合計画は8年間になりました。

また教育大綱策定の提案が実現し、教育大綱もスタートします。

最終日の3月25日（月）には令和6年度予算案に賛成の立場で討論を行い、賛成者多数で採択されました。

**ご意見・ご感想等ご連絡をお待ちしています。**

【連絡先】 ふくにし勝後援会 〒666-0014 川西市小戸 1-6-12-303

☎&📠 072-744-2803 📱 090-4766-2203

**プロフィール** 昭和54(1979)年7月20日生まれ(44歳)、鶴之荘幼稚園卒園、川西小学校、緑台中学校、大商学園高等学校卒業。

高校卒業後はスノーボードインストラクター、清和台中学校陸上競技部の外部コーチ等、市村浩一郎衆議院議員公設秘書を経て、平成22年川西市議会議員選挙初当選。現在4期目議会運営委員会、建設常任委員会、飛行場対策周辺整備調査特別委員会に所属。